

秋田県DX推進計画の進捗状況について(令和4年度)

令和5年3月27日
DX戦略本部事務局

資料1

秋田県DX推進計画に掲載している取組を着実に進めるため、秋田県DX戦略本部において、毎年、進行管理を行うこととしており、令和4年度の進捗状況は次のとおりである。

1 進捗状況の概要

計画に掲載している74の取組(再掲を除く)について、KPIやロードマップ等で進捗状況を評価した結果、約9割(下記A及びB)が順調に進んでいる。

A:計画を上回る 10件(13.5%) **B:計画どおり 57件(78.4%)** **C:計画を下回る 7件(8.1%)**

分類	取組事項	評価
行政		
(1) 行政手続のオンライン化	1 電子申請・届出サービスの充実	B
	2 建設業関係手続(許可・経営事項審査・入札契約手続)全般の電子化	C
	3 キャッシュレス納付の推進	C
	4 共通納税システムへの対応と納付書へのQRコード記載による納付環境の拡大	B
	5 旅券の電子申請及び手数料のクレジットカード納付の導入	B
(2) マイナンバーカードの普及・活用	6 県・市町村/民間事業者等の連携によるマイナンバーカードの普及啓発	C
	7 市町村によるマイナンバーカードの取得促進や交付事務体制充実の取組への支援	B
	8 運転免許証のデジタル化(マイナンバーカードとの一体化)	B
(3) 行政事務の効率化と働き方改革	9 RPAやAIなど先進的な技術の導入による業務改善の推進	B
	10 文書管理システムと財務会計システムの連携	B
	11 人事管理システムの活用による異動作業等の効率化	B
	12 財務会計システムの活用による内部統制機能の向上	B
	13 法制執務の一部におけるデジタル化	B
(4) 情報システムの最適化	14 テレワーク実証実験	A
	15 庁内情報システムの最適化	B
	16 基幹県税システムの他自治体との共同利用及びクラウド化	B
	17 予算編成、執行管理に係るシステムの統合	B
(5) オープンデータ化の推進	18 河川・道路・下水道施設等の効率的な管理システムの構築	B
	19 オープンデータの公開の推進	A
(6) 市町村のデジタル化の推進	20 都市計画基礎調査のオープンデータ化	B
	21 県及び市町村が共同利用する情報セキュリティクラウドの運用	B
	22 市町村の基幹系業務システムの標準化及び導入支援	B

分類	取組事項	評価	
産業			
(1) 産業の生産性向上と競争力強化	23 製造業や商業・サービス業等におけるIoT等のデジタル技術の導入による生産性向上や新事業創出等の取組への支援	B	
	24 実証プロジェクトの実践によるDXの先行事例の創出	B	
	25 デジタル化実践事例の横展開	B	
	26 企業のデジタルリテラシー向上への支援	B	
	27 デジタル化やDXを推進するデジタル牽引企業の創出	B	
	28 企業誘致の促進によるデジタル需要の受注拡大とデジタル人材の雇用確保	A	
	29 県制度融資の機関間におけるデジタル化の推進	B	
	30 製造業のDXを3D設計開発技術等で支える人材の育成	B	
	(2) スマート農林水産業の推進	31 スマート農業を支える基盤整備の実証	B
		32 多様なニーズに対応した戦略的な米生産の推進	B
33 次世代農業技術の研究の推進		A	
34 漁獲情報等のICT化の推進		B	
35 水産物オンライン販売体制強化		A	
36 ドローンなどを活用したスマート林業の普及拡大		B	
(3) デジタル技術を活用した観光施策の推進	37 観光におけるデジタルマーケティングの推進	B	
	38 デジタル技術を活用した観光エリアの収益性向上支援	B	
(4) ICT建設工事の拡大	39 ICT活用等による県内企業の効率性・安全性の向上	B	

分類	取組事項	評価
くらし		
(1) デジタル技術を活用した医療・福祉の推進	40 医療のデジタル化の推進	C
	41 医療ネットワークの推進	B
	42 急性期疾患に対する遠隔画像診療ネットワークの構築に向けた支援	B
	43 ICTを活用した健（検）診予約システムの全県展開	B
	44 介護職員の負担軽減や業務効率化に資するロボット・ICT導入への支援	A
(2) デジタル技術の活用による地域公共交通の利便性向上	45 バスロケーションシステムやAIオンデマンドタクシーの導入など利便性の向上と利用の拡大に向けた取組への支援	B
(3) 防災情報の充実・高度化	46 総合防災情報システムの更新・整備	B
	47 河川・道路・港湾に関する防災・災害情報の充実・高度化	B
(4) 教育のICT化の推進	48 ICTの活用による秋田の探究型授業の質的な改善	B
	49 広域的な職場体験・インターンシップや県内企業について学ぶことができるウェブサイトの管理・運営	B
	50 地域資源とICTを活用した「キャリア設計e-ミーティング」の実施	A
	51 デジタル探究コースの設置や専門人材を活用した教育の推進によるデジタル人材の育成	B
	52 ICTの活用による質の高い授業の実施	B
	53 オンライン式即興型英語ディベート交流会（e-Debate 交流会）の実施	A
	54 児童生徒の利用を対象としたネットパトロール及びインターネット健全利用の啓発	B
	55 ICTの活用による障害の状態や特性等に応じた学びの充実	B
56 ICTの活用による校務の効率化	B	
57 DX推進に資する分野を超えた連携研究や先導的人材の育成に対する支援	C	
(5) オンラインを活用した文化芸術の推進	58 オンライン等の活用による秋田の文化の魅力発信強化	B
	59 美術館・博物館等におけるデジタルコンテンツの充実	B
(6) AIの活用等による地域振興	60 オンラインを活用した大学生等への情報発信	B
	61 オンラインを活用したセミナー等の開催	B
	62 AIの活用等による移住相談対応の充実と地方移住関心層等に対するアプローチの強化	B
	63 デジタル技術を活用した動物愛護及び管理の推進	B

分類	取組事項	評価
環境基盤		
(1) デジタル人材の確保・育成	64 DX推進アドバイザーの活用	A
	65 DX推進のための若手職員ワーキンググループ	B
	66 庁内におけるデジタル人材の育成	B
	67 ICT企業の人材確保・育成の支援	A
(2) DXを支える情報関連産業の振興	68 “デジタル化の地産地消”に向けた県内企業と県内ICT企業のマッチング支援	B
(3) デジタルインフラの整備促進	69 携帯電話不感地域の解消	B
	70 ラジオ放送不感地域の解消	B
	71 5G等新たな情報通信基盤の整備の推進	B
(4) デジタルデバイス対策の推進	72 スマートフォン操作体験会等の実施	C
	73 県民がデジタルを身近に感じ触れることができる機会の提供	B
	74 学術研究機関等との連携によるヒューマンインタフェースの研究開発の推進	B

2 主な取組の進捗状況

【行政】～ デジタル・ガバメント ～

(1) 行政手続のオンライン化

①電子申請・届出サービスの充実（企画振興部）

【R4計画】 ・行政手続の電子化率 R4：70% ・電子納付サービス導入	【進捗】 ・電子化率 R4：68.8% (R4.10時点) ・R4.10に電子納付サービス導入	【評価】 B
【今後の取組等】 ・電子化未実施の手続について課題解決を図りながら更なる電子化を推進する。		

②キャッシュレス納付の推進（出納局・企画振興部）

【R4計画】 ・キャッシュレス納付が可能な手数料等の割合 R4：12%	【進捗】 ・手数料等の割合 R4：4% (R5.1時点)	【評価】 C
【今後の取組等】 ・手数料のキャッシュレスについては、電子申請・届出サービス（電子納付）を中心に進めるとともに、窓口キャッシュレスの環境整備を推進する。		

(2) マイナンバーカードの普及・活用

①県・市町村／民間事業者等の連携によるマイナンバーカードの普及啓発（企画振興部）

【R4計画】 ・マイナンバーカード交付率 R4：100%	【進捗】 ・交付率 R4：65.3% (R5.2時点)	【評価】 C
【今後の取組等】 ・マイナンバーカードの交付率は高まってきているものの、目標に達していないことから、引き続き市町村等と連携し、普及拡大を図る。		

②市町村によるマイナンバーカードの取得促進や交付事務体制充実の取組への支援（企画振興部）

【R4計画】 ・取得促進の先進事例等を市町村と共有する「全県連絡会議」の開催	【進捗】 ・県と市町村による連絡会議を開催し、ワクチン接種会場や商業施設における出張申請受付等の全県展開を図った。 (R4：3回開催)	【評価】 B
【今後の取組等】 ・高齢者層の取得促進に向け、福祉施設等での申請受付を市町村に働きかけるほか、県主体による県関係施設等における申請サポートを実施する。		

(3) 業務の効率化と働き方改革

①テレワーク実証実験（総務部、企画振興部）

【R4計画】 ・テレワーク実施者数 R4：500人	【進捗】 ・実施者数 R4：786人 (R5.2時点)	【評価】 A
【今後の取組等】 ・令和6年度の本格導入に向けて令和5年度も実証実験を継続し、テレワークの実施形態や一人1台PCのあり方等を検証する。		

(4) 情報システムの最適化

①予算編成、執行管理に係るシステムの統合（総務部、企画振興部）

【R4計画】 ・財務会計及び予算編成システムの統合・電子決裁や内部統制の機能追加を検討	【進捗】 ・新システムに必要な機能の洗い出しを行い基本構想を策定	【評価】 B
【今後の取組等】 ・新システム構築に向けて、令和5年度に概要設計を実施し、要求機能や運用方法等を整理する。		

(5) オープンデータ化の推進

①オープンデータの公開の推進（企画振興部）

【R4計画】 ・オープンデータ化した県有データ数〔累積〕R4：125件	【進捗】 ・オープンデータ数〔累積〕R4：150件 (R5.2時点)	【評価】 A
【今後の取組等】 ・新たなオープンデータカタログサイト (R5.3.20運用開始) のデータの充実を図るため、庁内ワーキングの検討を通じてデータの掘り起こしを進める。		

(6) 市町村のデジタル化の推進

①県及び市町村が共同利用する情報セキュリティクラウドの運用（企画振興部）

【R4計画】 ・セキュリティクラウドの共同運用により、県、市町村共に強固なネットワークセキュリティを維持する。	【進捗】 ・7県（各県市町村含む）でセキュリティクラウドを共同運用し、セキュリティレベルの向上とコスト圧縮を図った。	【評価】 B
【今後の取組等】 ・複雑化、巧妙化するサイバー攻撃に対応し、行政ネットワークの安全性を確保するため、セキュリティクラウドの共同運用を継続し、7県（各県市町村含む）のセキュリティの更なる向上を図る。		

【産業】 ～ 県内産業のDX ～

(1) 産業の生産性向上と競争力強化

①実証プロジェクトの実践によるDXの先事例の創出 (産業労働部)

【R4計画】 ・実証プロジェクトの創出数〔累積〕R4：6件	【進捗】 ・創出数〔累計〕 R4：6件 (R4.8時点) (内訳 R3：3件、R4：3件)	【評価】 B
【今後の取組等】 ・これまでメタバースや3D等を活用したプロジェクトの実証を進めており、社会実装に向けて取り組んでいく。R5年度は新規に2件のプロジェクトを創出予定。		

②デジタル化やDXを推進するデジタル牽引企業の創出 (産業労働部)

【R4計画】 ・デジタル牽引企業の認定数〔累積〕R4：3社	【進捗】 ・認定数〔累積〕 R4:3社 (R4.6時点)	【評価】 B
【今後の取組等】 ・R4年度に認定した企業の成長戦略の進捗確認を継続し受注拡大を支援するほか、R5年度は新規に2社を選定する予定。		

(2) スマート農林水産業の推進

①多様なニーズに対応した戦略的な米生産の推進 (農林水産部)

【R4計画】 ・スマート農機の省力・低コスト化の検証	【進捗】 ・北秋田市において無人田植機による省力効果を検証	【評価】 B
【今後の取組等】 ・稲作の更なる省力・低コスト化に向けて無人田植機のほか無人トラクターなど様々なスマート農機を組み合わせることで引き続き検証を進める。		

②水産物オンライン販売体制強化(農林水産部)

【R4計画】 ・オンライン販売を実施する漁業者数 R4：32人	【進捗】 ・漁業者数 R4：35人 (R5.2時点)	【評価】 A
【今後の取組等】 ・秋田県産水産物のPRを強化するとともに、オンライン販売に参加する漁業者に対して支援する。		

(3) デジタル技術を活用した観光施策の推進

①観光におけるデジタルマーケティングの推進 (観光文化スポーツ部)

【R4計画】 ・県が構築する観光デジタル情報プラットフォームへの参加事業者数 R4：10事業者 ・秋田県公式観光サイト「アキタファン」のページビュー数 R4：150万PV	【進捗】 ・参加事業者数 R4：7事業者 (R5.1時点) ・ページビュー数 R4：214万PV (R5.2時点)	【評価】 B
【今後の取組等】 ・宿泊施設におけるデータ収集を効率化するため、予約システム等とDMPが自動連携できる仕組みを検討する。「アキタファン」については、引き続きR3に設定したパーソナのターゲティング層に向けウェブ広告配信及び効果測定を行い誘客促進を目指す。		

(4) ICT建設工事の拡大

①ICT活用等による県内企業の効率性・安全性の向上 (建設部)

【R4計画】 ・ICT活用工事の実施件数 R4:40件	【進捗】 ・実施件数 R4：32件 (R5.1末時点)	【評価】 B
【今後の取組等】 ・3次元設計による建設生産システムに対応したICT機器の導入支援を引き続き行う。		

【くらし】～ デジタル社会 ～

(1) デジタル技術を活用した医療・福祉の推進

①急性期疾患に対する遠隔画像診療ネットワークの構築に向けた支援 (健康福祉部)

【R4計画】 ・急性期診療ネットワーク参加医療機関数 R4：9病院	【進捗】 ・参加医療機関数 R4：8病院 (R5.2時点)	【評価】 B
【今後の取組等】 ・急性期画像連携推進協議会の事務局である秋田大学と連携しながら、未参加の医療機関に導入メリットをPRするなど、当ネットワークへの参加を推進する。		

(4) 教育のICT化の推進

①デジタル探究コースの設置や専門人材を活用した教育の推進によるデジタル人材の育成 (教育庁)

【R4計画】 ・県立高校普通科へのデジタル探求コースの設置	【進捗】 ・デジタル探求コース設置校：4校	【評価】 B
【今後の取組等】 ・デジタル探求コース設置校を拡大(4校→10校)するほか、指導内容の充実を図るなど先進的なデジタル教育を推進する。		

(2) デジタル技術の活用による地域公共交通の利便性向上

①バスロケーションシステムやAIオンデマンドタクシーの導入など利便性の向上と利用の拡大に向けた取組への支援 (観光文化スポーツ部)

【R4計画】 ・バスロケ・AIデマンドなどデジタル技術を活用した利便性の向上等に取組む交通事業者数 R4：4事業者	【進捗】 ・交通事業者数 R4：4事業者 (R5.2時点)	【評価】 B
【今後の取組等】 ・路線の縮小・廃止等に伴う再編手法の一つとして、AIオンデマンドタクシーの実証などを模索する市町村が増えてきていることから、引き続きデジタル技術を活用した利便性の向上や運行の効率化を図る取組を支援していく。		

(5) オンラインを活用した文化芸術の推進

①美術館・博物館等におけるデジタルコンテンツの充実 (教育庁)

【R4計画】 ・デジタルアーカイブの充実 ・コンテンツの配信・整備	【進捗】 ・令和4年度は県立博物館Webサイトのリニューアルや、来館者向け解説コンテンツの作成を行った。	【評価】 B
【今後の取組等】 ・令和5年度は近代美術館Webサイトをリニューアルし、ユーザビリティ・アクセシビリティの改善を図るとともに、仮想空間上に「メタバース×MUSEUM」を構築し、誰もが利用しやすい新しいデジタルコンテンツの提供を行う。		

(3) 防災情報の充実・高度化

①総合防災情報システムの更新・整備 (総務部)

【R4計画】 ・基本構想作成	【進捗】 ・先進事例の調査や市町村からの要望等を踏まえ、次期システムの全体像となる基本方針を作成した。	【評価】 B
【今後の取組等】 ・引き続き市町村等と意見交換を行いながら、災害対応の省力化・迅速化につながるシステム構築に向け、順次、基本設計、実施設計を実施する。		

(6) AIの活用等による地域振興

①AIの活用等による移住相談対応の充実と地方移住関心層等に対するアプローチの強化 (あきた未来創造部)

【R4計画】 ・AIチャットボットシステム構築 ・VRによる移住体験試行	【進捗】 ・AIチャットボット：R4.7開始 ・VRによる移住体験：R4.9開始	【評価】 B
【今後の取組等】 ・メタバース空間を活用した移住相談会等の開催に加え、引き続きAIチャットボットやVRを利用した相談対応の充実・情報発信の強化を進める。 (AIチャットボット応答数：433回/R4.12時点、VR動画視聴回数：312回/R4.12時点)		

【環境基盤】

(1) デジタル人材の確保・育成

① DX推進アドバイザーの活用（企画振興部）

【R4計画】 ・デジタル化関連事業への助言・提案件数〔累積〕 R4：240件	【進捗】 ・助言・提案件数 R4：263件（R5.2時点）	【評価】 A
【今後の取組等】 ・ゼネラリスト・行政・産業・観光分野の各プロフェッショナルによるアドバイザー制度を引き続き実施するとともに、必要に応じて分野等の見直しを検討する。		

② ICT企業の人材確保・育成の支援（産業労働部）

【R4計画】 ・就業希望者と県内ICT企業とのマッチング者数 R4：13人	【進捗】 ・マッチング者数 R4：44人（R4.11時点）	【評価】 A
【今後の取組等】 ・企業訪問等を通じ、企業ニーズを踏まえた支援を実施する。		

(2) DXを支える情報関連産業の振興

① “デジタル化の地産地消”に向けた県内企業と県内ICT企業のマッチング支援（産業労働部）

【R4計画】 ・経営課題解決に対するICT活用度 R4：44.3%	【進捗】 ・ICT活用度 R4：41.5%（R4.6時点） ・ポータルサイトの登録事業者数142者、マッチング実績6件（R5.1時点）	【評価】 B
【今後の取組等】 ・ポータルサイトのアクセス状況を分析しながら、引き続き内容の充実に努めるとともに、製造業をはじめとする登録事業者の増加を図る。なお、現在のKPIに係る調査は単年度の実施でありR5年度の評価ができないことから、新秋田元気創造プランに設定しているKPIにより評価する。		

② 企業誘致の促進によるデジタル需要の受注拡大とデジタル人材の雇用確保（産業労働部）

【R4計画】 ・情報関連産業立地促進事業新規指定企業数 R4：1社	【進捗】 ・指定企業数 R4：3社（R5.3時点）	【評価】 A
【今後の取組等】 ・サテライトオフィスやリモートワーク等の環境整備や、大学・専門学校との連携、Aターン就職支援等による人材確保のサポート体制の充実により、事業指定企業3社を含む9社の誘致認定に繋がった。今後も、成長産業である情報関連産業の更なる誘致に向けて引き続き取り組んでいく。		

(3) デジタルインフラの整備促進

① 5G等新たな情報通信基盤の整備の推進（企画振興部）

【R4計画】 ・5Gの早期整備に対する国や通信事業者への働きかけ	【進捗】 ・5G等高速通信基盤の整備の促進について、国及び通信事業者に要望した。 ・5Gの人口カバー率（R4.3末時点） 秋田県81.0% 全国93.2%	【評価】 B
【今後の取組等】 ・県内全域への高速通信基盤整備が早期に実現するよう、引き続き国や通信事業者に働きかけていく。		

(4) デジタルデバйд対策の推進

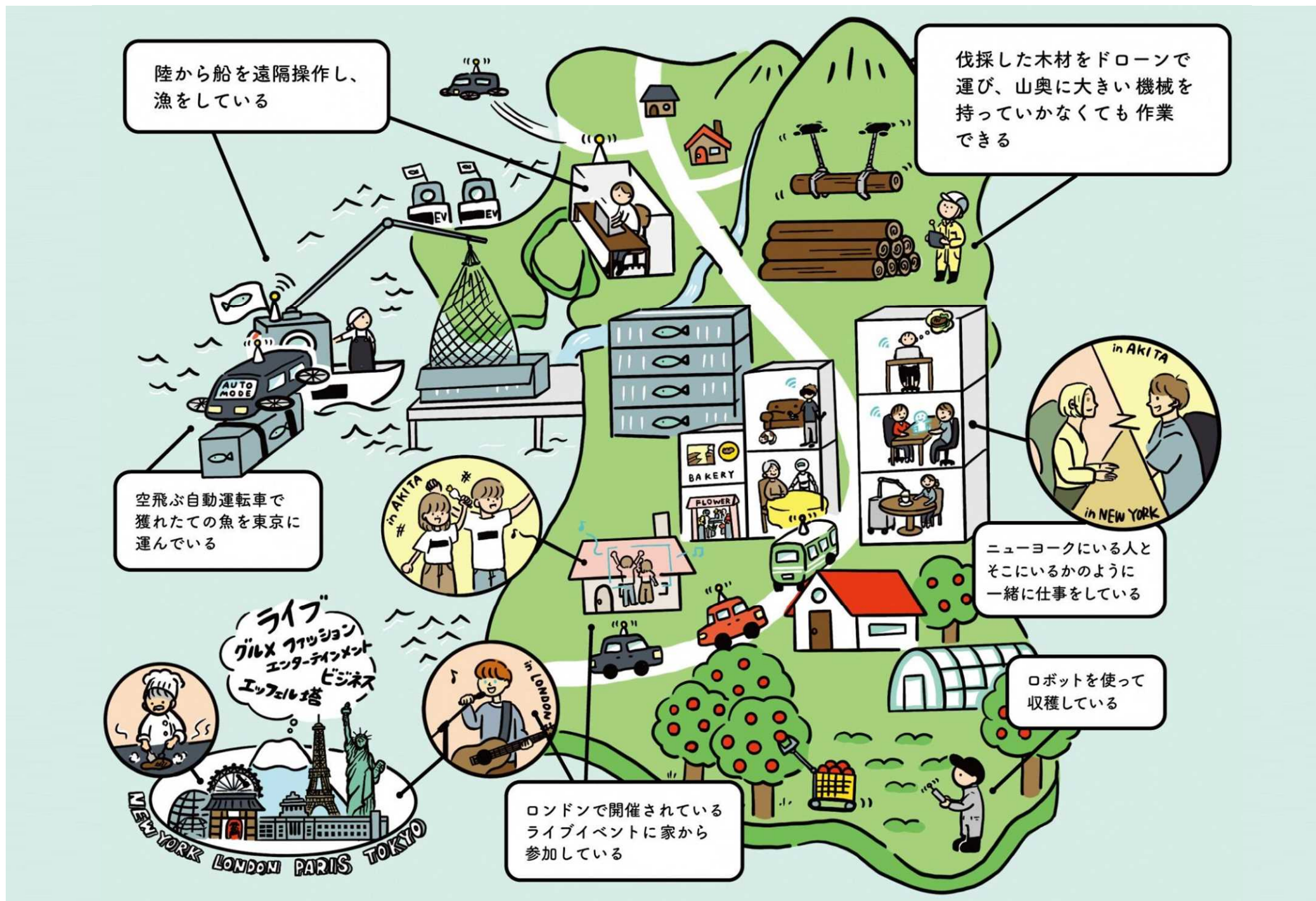
① スマートフォン操作体験会等の実施（企画振興部）

【R4計画】 ・スマートフォン操作体験会の参加者数 R4：1,600人	【進捗】 ・体験会の参加者数 R4：1,012人（R4.12時点）	【評価】 C
【今後の取組等】 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり目標の参加者数に届かなかったことから、広報紙やコミュニティFM等を通じた周知に加え、町内会にチラシを配布するなど、市町村と連携しながら広報活動を強化する。		

(参考) DX推進計画が目指す秋田の未来

AIやVR・AR等の先進的なデジタル技術により、趣味や娯楽、仕事など、ライフスタイルに応じた多様な活動が場所や時間を問わず便利に快適に行えるようになっており、ニューヨークやロンドンなど大都市にある様々なコンテンツやサービスを秋田にしながら享受できる環境になるとともに、新ビジネスなど新たな価値を創出し発信する県として、世界中から注目されています。

また、ロボット技術の導入等による自動化や省力化が進み、生産、物流、販売等のデータ活用により、市場のニーズに応じた新製品・サービスがタイムリーに供給され、あらゆる産業の振興が図られています。

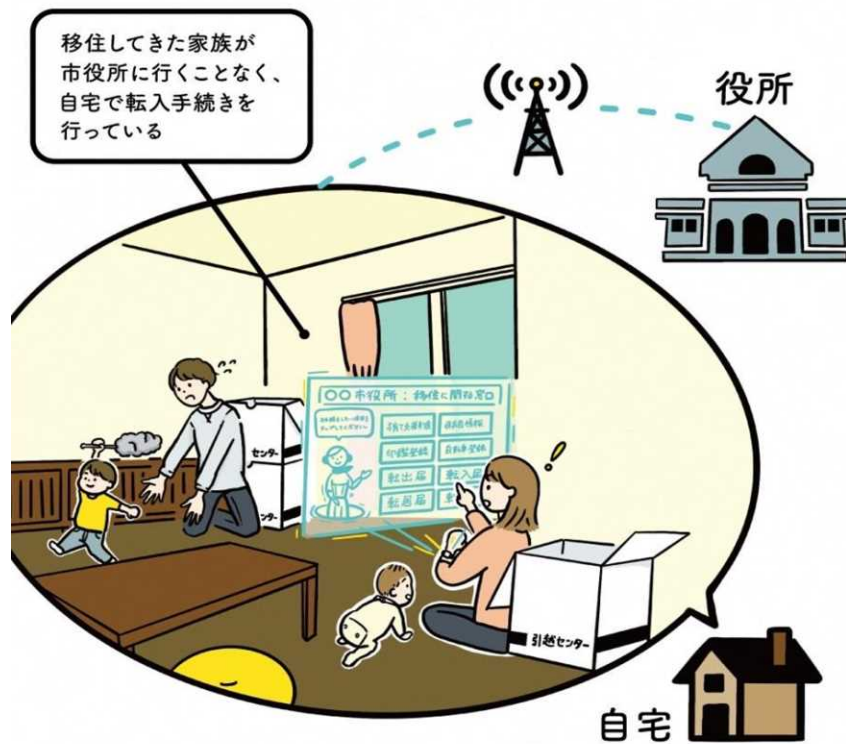


・VRやARを利用して、世界中のコンサートやサービスを秋田にしながら満喫している。

・ロボットやドローンの活用により、生産・物流が最適化されている。

【 行政 】

行政手続がオンラインで完結する環境ができており、引っ越しに伴う各種届出や子育て支援の申請など、生活の様々な場面で必要となる行政への届出・申請が、いつでもどこでもできるようになっています。



- ・空中ディスプレイを使って、自宅で引っ越し手続きが完結している。

【 交通 】

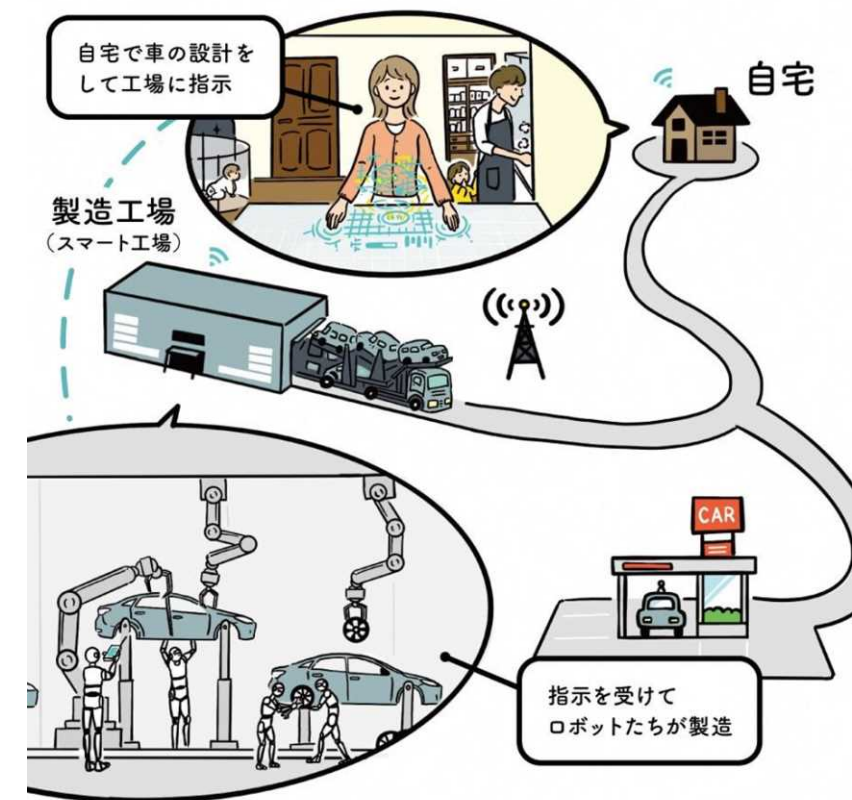
自動運転技術等が普及し、どこに住んでいても最適な交通手段で移動できるようになっているほか、安全性能の飛躍的な向上により交通事故が大幅に減っています。



- ・自動運転やドローン技術の発達により、移動が容易になっている。

【 製造業 】

AIやIoT、ロボット化の普及により工場のスマート化が進展しており、自宅などの離れた場所からロボットを操作するなど生産性が飛躍的に向上し、人はよりクリエイティブな仕事を行っています。



- ・リモートで工場のロボットに指示を行い、自宅で仕事が完結している。

【 観光 】

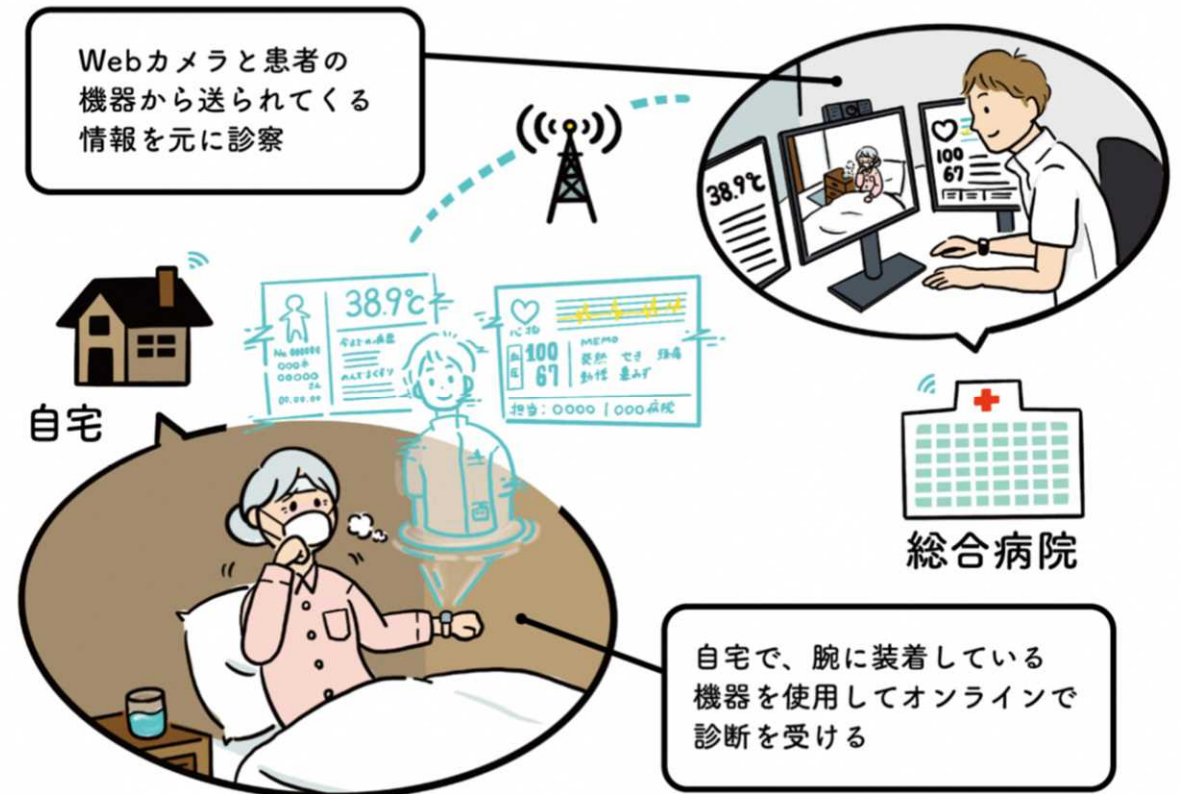
観光地の歴史や風土、文化に関する情報など、観光客のニーズに応じたあらゆる情報が、AIやVR、ロボット等により、多言語かつ多様な形で提供され、国内外から訪れる観光客が快適に秋田を満喫しています。



- ・ VRゴーグルを利用して、観光地の歴史を迫体験している。

【 医療 】

病院から遠くに住んでいても、オンライン診療等により必要な医療サービスが受けられるようになっています。



- ・ ヘルスケア用のウェアラブルデバイスの発達やオンライン診療の充実により、自宅にしながら、きめ細かな診察を受けている。